

(細則 - 様式第11号) (第7条関係)

在宅介護対応住宅構造申立書

在宅介護対応住宅にするための理由

- | |
|--|
| 1 同居者を介護するため。 |
| 2 同居者の介護が将来必要となるため。 |
| 3 私が老齢等で将来介護が必要な状態になっても、住み慣れた住宅で自立しながら介護が受けられるようにするため。 |
| 4 その他 { } |

在宅介護対応住宅の工事内容等

工 事 種 別	工 事 内 容 等
1 段差の解消、手すりの設置又は将来設置可能な下地補強	
2 車いすが利用できる幅の廊下、居室等の構造	
3 広いスペースの洋式トイレ又は入浴しやすい風呂場、浴槽等	
4 ホームエレベーター、天井走行リフト、階段昇降機、段差解消機等の介護機器の設置	

上記工事に係る費用は、別紙見積書のとおりです。

組合員氏名 _____ 印

上記の記載事項は、事実と相違ないことを証明します。

所属所長名 _____ 印